**論文のタイトル**

**副題は（あれば）この行**

**執筆者名（右詰。アクセプトされるまで空白）**

**所属（同上。投稿時の所属。出版時に変更がある場合は脚注に）**

**アブストラクト：**（和文400字／英文200words 以内。本文言語に合わせる）

（英文タイトル、著者名、アブストラクト-200words 以内：和文の場合。組版時に挿入するので、別ファイルで作成してください。）

＜論文本体の始まり＞　図表込みで原則25,000字以内

１ ○○○… ←節タイトル

（１）○○○… ←項タイトル

見出しは、前後の行を空けること。ただし小見出しの場合は前だけ空行とする。

注は、[[1]](#footnote-1)のように入れる

本文中での文献参照は、

佐藤 (2003) によれば．．．や　．．．と考えられてきた（佐藤 2003: 12-13）。

のように示す。執筆者自身の文献を引用する場合「拙稿・拙著」を使わない。執筆要領を参照

文章や段落の引用は、「…」（英文の場合　‟…”）を用いる等、引用箇所が明確にわかるようにする。

図表は、本文に埋め込む（執筆要領参照）

＜論文本文の終わり＞。

**補論**（「付録」でもよい。オプション）

**謝辞**（研究協力者と研究助成を明記する。謝辞の代わりに「付記」としてよい。。オプション）

例：本論文の作成にあたり、．．．から有益なコメント／調査の協力を得た。記して感謝申し上げます。本論文は科研（課題番号＊＊＊）による研究成果の一部である．．。等々

**引用文献**

〇　引用文献は、筆頭著者名が日本語の文献を先に同外国語文献を後に配置し、筆頭著者の姓（family name）の50音順（外国文献はアルファベット順他辞書等の慣用的順番）とする。

〇　形式は以下の通り。ただし必要な情報が含まれており、形式が統一されていれば、当該専門分野の慣例に従って記載してよい。

論文 著者名 (出版年) 「論文名」『雑誌名』第○巻 ページ。

著者名(出版年) 「論文名」編者名『書名』章、出版社。

 ＊英文の場合は論文名を“ ”で囲み、雑誌・書名をイタリックにする。

 例）Maddox, R. F. (1930) “Banks Need Trust Department,” *American Bankers Association Journal* , Vol.23, 11-32.

Clemhout, S. and H. Y. Wan, Jr. (1994) “The nonuniqueness of Markovian strategy equilibrium: the case of continuous time models for nonrenewable resources,” in Başar, T. and A. Haurie (eds) *Advances in Dynamic Games and Applications*. 339-355, Birkhäuser.

著書 著者名 (出版年) 『書名』出版社。

 ＊英文の場合は、著書名をイタリックにする。表記は半角。

例）Benston, G. J. (1990) The Separation of Commercial and Investment Banking , MacMillan Press.

邦訳書 ダイアモンド，J.（楡井浩一訳）(2005) 『文明崩壊（上・下）』草思社 （Diamond, J. (2005) Collapse: How Societies Choose To Fall or Succeed , Viking.）

インターネットからの引用 必ず末尾にアクセス日を記入すること。個人作成ＨＰからの引用は原則避ける。

例） 環境省・経済産業省ホームページ 『 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 について』 http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/（アクセス 2007/7/3）. FAO Yearbook of Fisheries Statistics 2003 ; Food and Agriculture Organization, 2003, http://www.fao.org/fi/statist/statist.asp (Accessed October 15, 2005)

1. 注の内容を書く。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 [↑](#footnote-ref-1)